



KIAのボランティア活動にスタッフとしてご協力、ご参加ください。



“やりたいことを、できるときに、できる範囲で、楽しみながら”

KIAにはこんなボランティア活動があります。「こんなことがしてみたい」「挑戦したい」「スキルを活かしたい！」など、あなたの思いにピッタリのボランティア活動を探して、ぜひ見学・体験してみてください。

◎ 外国人の方に日本語を教えたい	→ 日本語教室スタッフ
◎ 子育て中の外国人の方を支援したい	→ 子育て支援スタッフ
◎ 外国ルーツの子どもたちの日本語等の学習支援をしたい	→ 外国ルーツの子どもサポートスタッフ
◎ 地域の子どもの国際交流に携わりたい	→ 地域の子ども対象交流スタッフ
◎ 講座やイベントの企画や当日のお手伝いをしたい	→ 講座・イベントの企画運営スタッフ
◎ 協会報やホームページの作成、取材・執筆がしたい	→ 広報スタッフ
◎ 語学力を活かして通訳・翻訳がしたい	→ 通訳・翻訳スタッフ ※現在新規募集停止中
◎ <外国人の方> 地域の人に自分の国を紹介したい	→ 外国人ボランティアスタッフ

詳しくはKIAホームページで。見学や募集状況等のお問い合わせは事務局へ。

～ 見学受付中 ～

入会のご案内 ★ KIAの趣旨に賛同いただける方でしたら、市内外を問わず、どなたでも入会いただけます ★

年会費	個人会員	家族会員	賛助会員(*)	(*) 会社・団体等でのご入会の場合
	2,000円	3,000円	30,000円	

<特典> ◎KIAでボランティア活動ができます ◎イベントやセミナーに、会員料金で参加することができます ◎情報誌やイベントのお知らせがEメールや郵便で届きます 他

KIA賛助会員としてご協力いただいています。心から感謝申し上げます。(敬称略・入会順)

- 多摩信用金庫 国分寺支店
- 公益財団法人 鉄道総合技術研究所
- 学校法人 東京経済大学
- 有限会社 井口葬儀店
- 一般社団法人 国分寺市医師会
- リオン株式会社
- 国際ソロプチミスト国分寺
- 東京国分寺ロータリークラブ
- 東京国分寺ライオンズクラブ
- 株式会社 日立製作所中央研究所

国際協会の活動に賛同し、応援して下さる賛助会員を募集しております。詳しくは、国際協会事務局までご連絡ください。

国分寺市国際協会 (KIA:キア)

Kokubunji International Association

〒185-0034 国分寺市光町1-46-8

TEL (042) 505-6132 FAX (042) 505-6138

国際協会事務局 E-mail: info.1991kia@gmail.com

KIAオフィシャル
ホームページ



URL : www.1991kia.jp

ツイッター、フェイスブック
でも情報を発信しています。



@1991KIA

会員数合計:316 (2022年1月末現在)

- 個人会員:286 (一般:221、外国人:65)
- 家族会員:20 (一般:15、外国人:5)
- 賛助会員:10

● 国分寺市総人口: 127,769人

● 市内在住外国人数: 2,519人 (2.0%)
(2022年2月1日現在)

ご自由にお取りください。

国分寺市国際協会 協会報



Kokubunji International Association (KIA:キア) News

第119 (春)号 発行:2022年3月 発行者:国分寺市国際協会

昨年11月22日に創立30周年を迎えたKIAは、2022年の今年、次の40周年に向けての新しい一歩を踏み出しました。KIAは、国分寺市が掲げる「多文化共生」のテーマを共有し、市とのいっそうの連携、協調をはかりながら、在住外国人のサポートをはじめ、国際理解・国際交流の発展に向け、さらに力を合わせて進めていきたいと思っております。



新年恒例の「書初め」を開催

KIAが運営している日本語教室には、【昼】教室と【夜】教室の2つがあります。このうちの【昼】教室では、1月7日(金)に特別授業として「書初め」をしました。

「書初め」は【昼】教室の新年恒例の行事として定着しています。今年は、学習者13名と子どもたち3名の合わせて16名が参加し、思い思いの字を書いて楽しいひと時を過ごしました。



日本語教室部会：日本語教室【昼】



学習者に、スタッフ持参のカレンダーを配布



日本語教室【夜】の今年最初の授業は、三が日明けの1月5日(水)でした。今年はスタッフにお願いして自宅にあるカレンダーを持って来てもらい、学習者の皆さんにお配りしました。壁掛けや卓上のカレンダーがたくさん集まり、自由に選んでもらいました。

日本語教室部会：日本語教室【夜】

外国人ママさんとの「おしゃべり会」を開催

交流支援部会は、外国人と日本人や外国人同士の交流促進を支援するための、さまざまな取り組みを企画し、実施しています。そのなかの一つが、月1回のペースで開催している「おしゃべり会」。毎回、外国人のママさんが集まって、悩み事を聞いたり、趣味の話などを交わしたりして、交流を深めています。

外国人ママさんの知り合いがいるという方、外国人ママと友達になって手を貸したい！という方はぜひお気軽にご参加ください。

交流支援部会



第96回「国際理解講座」を開催

「国際理解講座」は協会設立の2年後の1993年にはじまり、2003年(第31回)からは「世界を知ろうシリーズ」をテーマとして、おおよそ4回のペースで開催を重ねてきました。96回目を迎えた今回は、講師に日本経済新聞社・編集委員の大石格さんを招き、「バイデン政権の行方」と題して講演をいただきました。この講演内容のあらまは、KIAホームページで紹介しています。次回の開催にもご期待ください。

国際理解部会

市とKIAが連携し、国分寺市における「外国につながる子どもたち」の支援活動を進めています。

2/5(土)、2/18(金)の2日間にわたって「外国籍等の児童・生徒のための日本語支援サポーター養成講座」がオンラインで開催されました。この養成講座は、国分寺市からの委託事業としてKIAが主催したものです。こうした「外国籍等の児童・生徒」や「外国につながる子どもたち」というのは、どんな子どもたちなのでしょう？ どんな支援が求められているのでしょうか？ 2日間の講座の内容をもとに、その後いろいろ調べてみたことも加味しながら、いくつかのポイントに整理し、簡単に紹介します。【広報部会】

※【参考】国分寺市の在住外国人のうち15歳未満の子どもの数：209名（2021年4月1日現在 国分寺市公表）

1 「外国につながる子どもたち」とは

生まれや育ち、国籍などのいずれかで外国につながる子どもたち

「外国につながる子どもたち」とは、外国籍の子どもたちだけでなく、自分の生まれや育ち、親や自分の国籍など、さなざなかたちで外国に自分のルーツをもち、多様な言語や文化、価値観、慣習などのなかで育ってきた子どもたちをさすことばで、「外国にルーツをもつ子どもたち」とも言います。

こうした子どもたちの「外国とのつながり方」は実に多様ですが、たとえばこんな例を挙げることができます。

外国につながる (外国にルーツをもつ) 子どもたちの例	1. 外国籍の子どもたち	例1) 日本に来て働いている外国籍の親をもつ子ども 例2) 外国籍の親の生活が落ち着いてから日本に呼び寄せられた子ども
	2. 日本国籍の子どもたち	例3) 外国籍の親が日本人と結婚して日本で生まれた子ども 例4) 外国籍の親が日本国籍を取得してから生まれた子ども

2 「在留資格」にかかっている「外国籍の子どもたち」の将来

子どもの進路や将来と「在留資格」について、「いつでも相談できる」を支援することが大事

在留資格とは「入国後に外国人が適法に日本に滞在するための資格」で、日本での仕事や留学などの『活動』によるものと、「永住者」「定住者」などの『身分』によるものとに分かれ、全部で33種類の資格があります。これらのどれか一つに必ず該当する在留資格がなければ、日本に滞在することはできません。

この在留資格は、上記で触れた「外国籍の子どもたち」の職業選択（日本での『活動』）に大きく関わります。

「外国籍の親の生活が落ち着いてから日本に呼び寄せられ、中学校1年生に編入した子ども」の例 ※ 国籍は外国籍 在留資格は『家族滞在』	● 高校卒業後、就職したい； → 『家族滞在』の在留資格のままでは、一般の日本人高校生と同じように自由に職業を選んで、就職することはできない。在留資格の変更が必要。
	● 高校卒業後、進学したい； → 『家族滞在』の在留資格のまま、大学・短大・専門学校に進学することができる。ただし、卒業後、就職するには、仕事の内容(『活動』)に合う在留資格に変更することが必要。

● 講師の神奈川県行政書士会・岩崎さんからの助言：

「在留資格は細かくて複雑な上に、政治・経済などの動きでよく変わります。だから、できるだけ早い段階から、子ども本人・保護者と考えてください。わからないときは、早めに専門家に相談してください」

➢ KIAのホームページでは、こうした在留手続きの問題も含め、外国人の方がさまざまな問題に応じて相談できる「多言語相談窓口」を紹介しています。

[KIAホームページ](#)
多言語相談窓口



■ 講座内容： ※ 時間は両日とも、前半は午後1時30分～2時30分、後半は午後2時30分～4時30分

- ① 2/5 前半：国分寺市の取り組み（市教育委員会学校指導課・市人権平和課・恋ヶ窪公民館・国分寺市国際協会）
- ② 2/5 後半：「外国につながる子どもたちの『ことばの力』を伸ばすための支援づくり」 講師：南浦涼介さん(東京学芸大学准教授)
- ③ 2/18 前半：「在留資格の基礎知識～外国につながる子どもたちの在留資格と進路を中心に～」 講師：岩崎裕子さん(神奈川県行政書士会国際部子どもびざさばチーム)
- ④ 2/18 後半：「外国につながる子どもたちの『学びの力』を伸ばすための支援づくり」 講師：南浦涼介さん

3 「外国につながる子どもたち」への日本語支援サポート

国分寺市も「外国籍等の児童・生徒に対する日本語指導」として取り組んでいます。

「外国につながる子どもたち」の中には日本語が話せないために教室で孤立し、日本語での授業も理解できず、勉強についていけなかったり、友だちができなかったりという問題を抱えた子どもたちがいます。

KIAは国分寺市と連携して、日本語支援サポーター派遣事業やこいがくぼ国際教室の活動の支援に取り組んでいます。

日本語指導員派遣事業 ・実施：国分寺市学校指導課	・学校における日常生活や学習活動で最低限必要とされる初期の日本語を指導。 ・指導期間は、児童・生徒一人あたり108時間まで。
日本語支援サポーター派遣事業 ・実施：国分寺市人権平和課 ・受託事業者：KIA	・上記日本語指導員派遣終了後さらに日本語指導が必要な場合、また日本語指導員派遣対象とならなかった児童・生徒が対象。 ・週1回、授業入り込みまたは放課後の45～90分。期間は6か月。
こいがくぼ国際教室 ・主催：恋ヶ窪公民館 ・運営協力：KIA	・小中学生に対し、日本語学習や宿題のサポートなどを実施。学習だけでなく、子ども同士でのコミュニケーションも活性化させ、子どもにとっての居場所になることが目標。 ・土曜午後、月3回程度。

4 「外国につながる子どもたちの『ことばの力』『学ぶ力』を伸ばす」

子どもたちの「私、これ、ことばにしたい！」を引出し、「ことばの力」を育む

日本に居住する外国人には、3つの壁があると言われます。その1つである「ことば」の壁を乗り越えることは、「外国につながる子どもたち」にとっても、あとの2つの「心」そして「制度」の壁の克服につながります。実際の日本語のサポートや指導の現場で「外国につながる子どもたち」の『ことばの力』・『学ぶ力』を伸ばすための支援には、いろいろな考え方や工夫が必要のようです。

● 講師の東京学芸大学准教授・南浦先生が示されたいくつかのヒントから：

<ヒント1>

「ことばにしたい！」状況をつくる

・子どもたちの<ことばにしたいこと>をつくり、それに「ことばを乗せてあげる」ことが大切。「形だけで気持ちのともなわないことば」は、知識になっても体得されない。

<ヒント2>

「ギャップ」をうまく利用する

・お互いもっている情報のギャップ(差、違い)を活用する。子どもたちに、知らないわたしに「教えたい」「伝えたい」(=「これ、ことばにしたい！」)気持ちを起こさせる。

<ヒント3>

「知的探求心」をくすぐる

・「基礎基本を学んでから本番」「知識がないと思はできない」ではなく、子どもたちの知的探求心をくすぐり、考える学び・意味ある学びを追求・発展させていく。